

すぎなみ大人塾

地域コース：久我山～浜田山コース

コミュニティデザインって!?

実践編

～スモールプロジェクトをやってみよう!～

学習支援者 矢野 恒
学びあいの伴走人 尾関 久子
岡田 美津江



すぎなみ大人塾 地域コース

1. 概要

コース開講3年目

久我山～浜田山コースは、令和5年度に開講し、今回で3年目の開催となりました。1年目から引き続き関わっている学習支援者・学びあいの伴走人（学習支援補助者）に加えて、令和6年度のサポーターや卒業生の方々にグループ活動等を支えていただきました。

また、受講生は、初めて参加する方から連続して参加している方まで、さまざまな経験を有する方々が集い、皆さんで学びを深めていきました。

「コミュニティデザイン」をテーマに

令和7年度も、コミュニティデザインを切り口に講座を開催しました。第3回の講座には、コミュニティデザイナーの山崎亮さんを講師にお呼びし、実際の地域活動の事例や、地域活動をするときに心に留めておくべきことなどについてお話しいただきました。

また、講座全体やグループワークを通して、地域活動やコミュニティデザインについて実践的に学べるようにプログラムを設計しました。

地域活動の実践

第2回から第5回までは、「スモールプロジェクト」と称し、“地域の課題解決や魅力の再認識などを目的に、地域のマップづくりやカレンダーづくりなどのさまざまなテーマに沿ったグループ活動”を行いました。

グループは、久我山～浜田山の各地域に馴染みのある方から、全く別の地域にお住まいの方まで、多様なメンバーで構成されていました。こうしたメンバーで活動したことで、受講生の皆さんは地域について理解をより深められたほか、その地域を知らない方の視点から、新しい発見を得ることもできました。



学習支援者
矢野 恒 (のや 恒平、まちづくりコーディネーター)
「地域」を伝えるために「ひと」が暮らし、「ひと」が集まることで「地域」が生まれ、地域が生まれることでコミュニティがくわられます。
そして、すぎなみ大人塾地域コースでは、「ひと」がそれぞれ持つ「能力」を育みます。
今年度も「コミュニティデザイン」をテーマに、「ひと」を「ひと」が活かす、そして地域をつなぐ力を、受講生の皆様と一緒に高め、届けていきます。

コーススケジュール *このコースは、講義形式ではなく、グループワークや自主活動を通して其の学びが深まる予定です。

第1回 7月5日(土) 9:30～12:00 高井戸地域区民センター 「仲間づくり」のスタート みんなと コミュニケーション	第2回 7月26日(土) 9:30～12:00 高井戸地域区民センター チームづくり & スモールプロジェクトを 計画しよう	第3回 9月13日(土) 13:30～15:30 高井戸地域区民センター コミュニティデザインを 楽しもう *公開講座* ゲスト講師：山崎 亮 (コミュニティデザイナー(横) studio+代)
第4回 9月27日(土) 9:30～12:00 浜田山会館 スモールプロジェクトを 準備しよう	【実施期間】10月～11月上旬 スモールプロジェクトをやってみよう! *チームごとにそれぞれの活動をしませう* スモールプロジェクト例：○○カレンダーづくり、○○マップづくり ※各チームに第1回からサポーターが付きまます。	
第5回 11月15日(土) 9:30～12:00 浜田山会館 スモールプロジェクトを ふり返ろう	第6回 12月20日(土) 9:30～12:00 浜田山会館 myプロジェクトを 考えよう	第7回 1月31日(土) 9:30～12:00 浜田山会館 myプロジェクトを 発表しよう

*第3回は、受講生以外に40名を別途申込フォームにて受け付ける予定です。

日 程	令和7年7月5日(土)～令和8年1月31日(土) 全7回	学びあいの伴走人
参加費	無料 (グループ活動に関する費用等、一部実費がかかることがあります。)	尾関 久子 (元サポーター)
対象者	杉区に在住の方	岡田 美津江 (元サポーター)
定 員	35名 (応募者多数の場合は抽せんになります。)	
申込方法	令和7年6月15日(日)	
締 切 日	申込フォームに必要事項を入力の上、お申し込みください。	

【主催・お問い合わせ】 杉区立社会教育センター
TEL: 03-3317-6621(平日) 8:30～17:00 E-MAIL: shakyo-c@city.sugami.jp

*すぎなみ大人塾受講生、地域で活動する方々がみんなの学びあいに携わります。

2. 実施状況

◇講座（全7回）

時間：主に9：30～12：00

会場：高井戸地域区民センター、浜田山会館、久我山会館

◇学習支援者：矢野 恒（やのや主宰、まちづくりコーディネーター）

◇学びあいの伴走人：尾関 久子、岡田 美津江

◇サポーター：令和6年度「地域コース」卒業生・サポーター有志

	日	内容	学習支援者 & 講師	参加
1	7月5日（土）	「仲間づくり」のスタート みんなでコミュニケーション	矢野 恒	31人
2	7月26日（土）	チームづくり& スモールプロジェクトを計画しよう	矢野 恒	26人
3	9月13日（土）	コミュニティデザインを楽しもう （*公開講座）	山崎 亮 （コミュニティデザイナー、 （株）studio-L代表）	27人 （*15人）
4	9月27日（土）	スモールプロジェクトを準備しよう	矢野 恒	25人
10月～11月上旬 スモールプロジェクトをやってみよう！ （チーム毎の自主活動期間）				
5	11月15日（土）	スモールプロジェクトをふり返ろう	矢野 恒	26人
6	12月20日（土）	myプロジェクトを考えよう	矢野 恒	23人
7	1月31日（土）	myプロジェクトを発表しよう	矢野 恒	27人

* 第3回は公開講座とし、受講生以外に参加者を募集。括弧内の人数は公開講座のみの参加者数。

3. 受講生データ（年代内訳）

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
2人	1人	2人	12人	11人	6人	2名	36人

4. 参加前アンケート

この講座に参加したいと思った理由に近いものはどれですか。（複数回答可）

- 1 「コミュニティデザイン」に興味があったから…………… 7件
- 2 地域をもっと知りたいから…………… 11件
- 3 地域の中で友人や知り合いを増やしたいから…………… 10件
- 4 いろいろな人と話してみたいから…………… 10件
- 5 参加できる曜日・時間帯だから…………… 5件

5. 講座内容の紹介

第1回

「仲間づくり」のスタート

みんなでコミュニケーション

日 時：令和7年7月5日（土） 9:30～12:00

参加者：31人

会 場：高井戸地域区民センター

【講座内容】

オリエンテーションとして、今年度の講座の目的・ミッション・スケジュール等について説明を行いました。多くの受講生が初めての顔合わせです。第1回は、「コミュニケーション」をテーマに講座をスタートしました。個人ワークとして「自己紹介カード」を作成し、カードを用いて自分を表現しながら受講者全員で交流を行いました。共通のテーマを共有しながら話すことで、初対面でも多くの受講生が自己表現できている様子が伺えました。

後半は、「地域に対する意識づけ」を狙いとして自分の「地域」についてグループでディスカッションを行い、自分たちの地域の「よいところ・悪いところ」等をグループ間で共有しました。初めてのグループワークも活発に意見交換が進み、今後が楽しくなりそうな講座になりました。

〔記録：学習支援者 矢野 恒〕



第2回

チームづくり&

スモールプロジェクトを計画しよう

日 時：令和7年7月26日（土） 9:30～12:00

参加者：26人

会 場：高井戸地域区民センター

【講座内容】

グループ分けを事前に行い、5つのグループに分かれて講座をスタートしました。冒頭に、約4か月間にわたるスモールプロジェクトの進め方の説明を行いました。スモールプロジェクトについては4つのプロジェクトを用意し、デジタルルーレットを用いて各グループへ割り振りました。グループワークでは、グループ名（寿司ネタ）の決定、プロジェクト案のアウトプット、及びプロジェクトシートの作成を行いました。

また、グループ内の交流を目的として、一人ひとりの価値観を共有するためにカードゲームを行い、グループ内のコミュニケーションを図りました。結果、スモールプロジェクトのアウトプットの方法についても意見交換が進み、今後のグループワークがより楽しみになりました。

〔記録：学習支援者 矢野 恒〕



1. 地域自然・文化・アート発見プロジェクト：あなごチーム
2. 地域おすすめ発見プロジェクト：えんがわチーム・きんめチーム
3. 地域あるある発掘プロジェクト：かんばちチーム
4. 井の頭沿線お土産発掘プロジェクト：めさばチーム

第3回

コミュニティデザインを楽しもう

日 時：令和7年9月13日（土） 13:30～15:30

参加者：27人（公開講座参加者：15名）

会 場：高井戸地域区民センター

ゲスト講師：山崎 亮



【講座内容】

3年越しの地域コースのテーマである「コミュニティデザイン」について、第一人者である山崎さんをお呼びし、受講者がイメージできるように具体的な例を通じて学ぶことができました。講師のお話はとても分かりやすく、「地域活動は一人からでも始められることや行ったり来たりの繰り返しでゆっくり進めていけば良い。そして、地域にはいろんな方々がいるので、自分の意見とは違う考え方をする方もいるが、まずは全てを受け入れ、そこから一緒に考えて行くことが大切だ」というお話は、これからの活動にたくさんのヒントをいただきました。そのワクワク感のまま各グループワークに入ったので、どのグループも意欲的な話し合いが行われました。

また、同時に公開講座で参加された方々からも、とても分かりやすく元気をもらえるお話だったと大変好評でした。

〔記録：学びあいの伴走人 尾関久子〕

第4回

スモールプロジェクトを準備しよう

日 時：令和7年9月27日（土） 9:30～12:00

参加者：25人

会 場：浜田山会館



【講座内容】

前回の講座の振り返りをしながら、具体的に今後の自分たちのグループのプロジェクトの進め方について話し合いました。前回の後からグループごとにアプリ等を活用して情報交換したり、実際にグループで集まって話し合いをしたりなど、それぞれのグループのやり方で進められていました。前回の山崎さんのお話からさまざまな発想も生まれてきたようで、引き続き活発な意見交換がされており、各グループそれぞれが得意分野等も活用しながら各々ができる所でグループワークに参加しているようでした。

今回のスモールプロジェクトは成果物が目標ではなく、その過程のグループワークをどう進めて行くか？を学ぶ場で、それは参加者の皆さんが気付かれているようでした。それでもやはり、折角の成果物を講座内だけでなく、どこかで発表したいという想いも出てきたようで、大人塾まつり等で発表したいなどの発言も出ていました。また講座とは別に、発表前の皆さんが集まれる場を準備したところ、どのグループもそれを活用する方向で検討されており、グループの結束が高まっているのを感じました。

〔記録：学びあいの伴走人 尾関久子〕

第5回

スモールプロジェクトをふり返ろう

日時：令和7年11月15日（土） 9:30～12:00

参加者：26人

会場：浜田山会館

【講座内容】

今回は、7月のグループ作りから始まり、9月から本格的にグループで準備を行ったスモールプロジェクトの発表でした。各グループともにチームワークが生まれていて、講座を通して知り合いを増やす・つながりを作ることに成功したと思います。発表する側も聞く側も盛り上がり、一体感がありました。サポーターの皆さんの陰の力が大きかったと思います。次回はグループが変わり自分のプロジェクトを考える時間です。どんなプロジェクトが出てくるのか楽しみです。



〔記録：学びあいの伴走人 岡田 美津江〕

【各チームのスモールプロジェクト】

あなごチーム：久我浜の「文化、アート、自然」を推しマップで布教＜動画、地図＞

えんがわチーム：カルタで発信する“くがはま”の魅力＜カルタ＞

きんめチーム：私の推し＜動画＞

かんぱちチーム：神田川がつなぐもの一杉並に生きる、ふたりの物語ー

クガハマ住民の「あるある」付き！＜スライド＞

めさばチーム：井の頭線おみやげ発見プロジェクトマップ＜スライド、地図＞

第6回

myプロジェクトを考えよう

日時：令和7年12月20日（土） 9:30～12:00

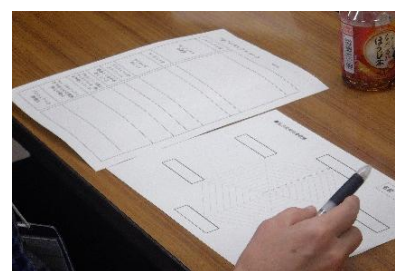
参加者：23人

会場：浜田山会館

【講座内容】

今回は11月に発表したスモールプロジェクトの体験をふまえて、myプロジェクトの作成を行いました。myプロジェクトに取りかかる前に学習支援者から講義があり、山崎さんの講演で学んだことを思い出し、イメージがわいてきたと思います。プロジェクトとなると大きなことをイメージしますが、そうでなく小さい一人の思いから少しずつ広がっていくこともあることを学びました。伴走人の活動報告では、身近な思いから始められる活動があることを知ってもらえたら嬉しいです。自分が“わくわく”するのがポイントだと私は思っています。受講生も“マスト”ではなく“わくわく”で今後も活動していける一助にこの講座がなってくれたら嬉しいです。

グループ変更になったことへの戸惑いは見られたように感じましたが、多くの受講者と知り合いになるためにはこの変更は良かったと思います。



〔記録：学びあいの伴走人 岡田 美津江〕

第7回

myプロジェクトを発表しよう

日 時：令和8年1月31日（土） 9:30～12:00

参加者：27人

会 場：久我山会館



【講座内容】

最終日、受講生の雰囲気もあたたかく和気あいあいとして会が進んでいきました。皆さんが考えてきたmyプロジェクトシートに、受講生同士で「いいね！」「それノット！」「ブラヴォー！」のシールを貼り、エールを送りあいました。myプロジェクトの完成度は素晴らしく、すぐにでも進められそうなプロジェクトが多かったです。まるで3年間同じメンバーが受講したかのように、学習支援者の矢野さんの想いが伝わっているものでした。

地域コースのあたたかい雰囲気が最後まで続き、無事に終わることができてよかったですと思います。

〔記録：学びあいの伴走人 岡田 美津江〕

第7回発表用「myプロジェクトシート」一部資料

myプロジェクトシート

name

プロジェクト名	年上の知り合いを作ろう
プロジェクトの概要	杉並区ゆうゆう館で実施している講座を受講し、地域に年上の知人を作る。
ターゲットは	講座に参加している高齢者の方
わくわくのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的時間のある元気な高齢者が参加しているため、楽しくおしゃべりできそう。 ・地元の色々な情報を得られる。 ・年上の年代の方と交流することで、知見を広げることができる。
プロジェクトのスケジュール	2月以降、参加できそうな講座を検討し申し込む。
地域とつながるポイントは	一緒に講座を受講する中で親交を深め、地域情報交換等の交流により、地域への関心を深める。
プロジェクトを誰とやってみたいか（誰を仲間にしたいか）	未定
myプロジェクトをやるための具体的な行動は	2月以降の各ゆうゆう館のスケジュールを確認し、参加できそうな講座を検討のうえ申し込み受講。
プロジェクトの課題は	いろいろな方と知り合うために数種類の講座を受講することが望ましいが、近隣のゆうゆう館において、受講したい講座の有無と空き状況、また自身のスケジュールとの兼ね合いが課題。

myプロジェクトシート

name

プロジェクト名	杉並の木の実と草花の「場所」と「思い出」集めプロジェクト
プロジェクトの概要	地域に残る木の実や野草（草花）の生えていた場所と、それにまつわる <u>個人の記憶</u> （特に子どもの頃の体験）を、談話や掲示板を入口として少しずつ集める取り組み。情報は外部公開を前提とせず、提供者と相談しながら散歩マップや聞き書き、 <u>小規模な交流</u> として活用する。
ターゲット	主に地域で長く暮らしてきた <u>高齢者</u> 。副次的に、地域の自然や記憶を子どもにつなげたい <u>子育て世代</u> 。
わくわくポイント	何気ない記憶や場所の話が地域の価値になる点。知識や正解を求めず、世代を越えて対等に話せるテーマである点。
スケジュール	掲示板掲載は2週間。 <u>月替り（年間を通じて）</u> で継続募集し、情報整理は随時。とくに募集期限は設けず、交流企画は情報が蓄積してから検討。
地域とつながる点	区民センター談話室などで <u>話を</u> 集めたり、区立掲示板に告知して、公園や川沿いなど身近な場所を起点に世代間のつながりを生む。
このプロジェクトをともに手がけたい人	<u>地域の話</u> を聞くことに関心があり、専門知識よりも対話を大切にできる人。
やるための具体的な行動は	<u>話を聞いたり</u> 、掲示物を作成・掲示し、QRやメールで情報を受領。内容を整理し、提供者と相談しながら次の展開を検討する。 （注意点） <u>安心・安全</u> を確保。実際に食べられるか、採取して良いかは、専門家、場所管理者に確認する。
このプロジェクトの課題は？	QR利用の心理的ハードル、 <u>食用表現による誤解への配慮</u> 、 <u>継続性の確保</u> 。

myプロジェクトシート

name

<p>プロジェクト名</p>	<p>「テーマ型対話カフェ(答えを出さない対話)」を主宰する</p>
<p>プロジェクトの概要</p>	<p>社会人になると、正解や結論を求められがちであったり、年齢や立場によって発言しづらいため、本音で話せる場が減る傾向にある一方で、今回大人塾に参加したことによって、利害関係のない幅広い方々との対話を通じて、気づきを得たり、自分の考えが整理され元気になれることに、あらためて気がつきました。この経験を基に、「話し合うこと自体に価値がある場(否定・評価・アドバイスは禁止)」を意図的にデザインできないかと思い、「結論を出さずに誰もが安心して話せる場」を定期的に創出したい、と考えました。</p>
<p>ターゲットは</p>	<p>キャリア・人生を充実させたいと考える人なら誰でも</p>
<p>わくわくのポイント</p>	<p>出会う人たちとの対話を通じた交流、対話の中での思いがけない発見・ひらめき</p>
<p>プロジェクトのスケジュール</p>	<p>月1回または隔月(土曜・1回90分程度(出入り自由)、最大10名)をめどに開催</p>
<p>地域とつながるポイントは</p>	<p>久我山～浜田山エリアの公共施設または地域カフェを開催場所にする。また、この場で社会教育センター主催の各種イベントの紹介も行う(地域に関心を持つキッカケになるように)。</p>
<p>プロジェクトを誰とやってみたいか(誰を仲間にしたいか)</p>	<p>杉並区立社会教育センターのみなさん</p>
<p>myプロジェクトをやるための具体的な行動は</p>	<p>開催場所を見つける、対話テーマ・ファシリテーションの仕方を考える、ビラ作り(参加者の募集)</p>
<p>プロジェクトの課題は</p>	<p>閉じたコミュニティにならず、新しい人が入り続ける仕掛け作り</p>

myプロジェクトシート

name

プロジェクト名	人が集まる家にする
プロジェクトの概要	<p>「地域」を構成する最小単位である「個人・家庭=家」にフォーカス</p> <p>「つながり」の具体化。 来たるべき「高齢」→「独居」、その時、寂しくないように。</p> <p>外に出ることが難しくなっても「つながり」を維持するために、「人が集まる家」にする。これは社会から孤立せず明るく楽しい生活を送ることができる可能性が高まるだけでなく危機管理上も有効なのではないか。そんな家が周りに増えれば、高齢者世帯が多い地域の安心安全にも役立つと思う。</p> <p>"The personal is political" (大袈裟な)</p>
ターゲットは	自分
わくわくのポイント	理想的な状態の我が家を思い描くことは夢がある ビフォーアフターが楽しみ
プロジェクトのスケジュール	ポチポチと
地域とつながるポイントは	大人相手の家庭文庫のような場所になるといい
プロジェクトを誰とやってみたいか（誰を仲間にしたいか）	夫 ※夫の協力なしには実現しない。
myプロジェクトをやるための具体的な行動は	<ul style="list-style-type: none"> ①モノを減らしてスペースを確保する ②片付け上手な知人にアドバイスを求める ③他人を家に入れる心理的ハードルを下げる
プロジェクトの課題は	片付けが苦手。片付け本（こんまり等）を色々読んだが実行に移せない。今の状態のままでも不自由はないし...と思ってしまう意志の弱さ。やりたいことが多くて時間が足りない。

6. 成果

スモールプロジェクトの実施

今年度は実際に活動を試みることに重きを置いて講座を実施しました。地域に出て活動することは決して簡単なことではありませんが、今回グループで取り組むことで、地域活動へのハードルが少し低くなったのではないのでしょうか。

アンケートでは、「いろいろな方と関わって良かった」「合理性よりも、楽しい・面白いと感じることにこそ、人を惹きつける力があることがよくわかりました」等の意見があり、地域で活動することの魅力や地域の良さを再確認することができた活動であったと同時に、さまざまな立場の人と一緒に活動することの難しさを実感として学べる機会になったのではないかと考えます。

コミュニティデザインへの理解

最終アンケートに回答した19人のうち、「コミュニティデザイン」への理解が「深まった」と答えた方が15人、「やや深まった」と答えた方が4人でした。学習支援者からの地域での活動事例紹介や、コミュニティデザインの第一人者である山崎さんからのご講演により、コミュニティデザインへの理解がさらに深まったように感じました。

また、実際に地域での活動を経験したことで、矢野さんや山崎さんが講座内で伝えていた理念やポイントを、自らの体験として理解することができたのではないのでしょうか。

自分がやりたいことを形に

スモールプロジェクトが終わったあとは、「myプロジェクト」と称して、これから自分が地域でどんな活動をしてみたいかを考えていきました。受講生それぞれが日々の地域との関わり方を振り返り、その延長線のできることや、地域の人との関わりを深めるための行動変容など、多種多様なアイデアが出されました。スモールプロジェクトを通して体験したモノトを身近にしたい、そのためにまずは自分ができることから続けていきたい、というような前向きな声がたくさんあがりました。

学びあいの伴走人・サポーターのフォロー

「学びあいの伴走人」には、昨年度に引き続き、講座の企画を学習支援者とともに検討しながら、学びを見守り支える役割を担っていただきました。

また今年度は、地域コースを昨年受講した方を中心に、各グループのサポーターとして参加していただきました。講座外でのグループ活動にも同行し、受講生に寄り添いながら学びを支えていただきました。

学習支援者の存在に加え、学びあいの伴走人やサポーターのおかげで受講生が安心して学べる環境を整えることができたと考えます。

7. 課題と今後の取組

スモールプロジェクトの進捗のばらつき

今年度の講座の中心であったグループごとのスモールプロジェクト実施について、メンバー出席率によって、グループ活動の進捗に差が出てしまうことがありました。また、任意ではありましたが、講座外での活動も必要となる講座設計であったため、さらにグループの活動の充実度に差が出てしまったのかもしれない。

今後は、出席状況に左右されにくい活動や、メンバー間で情報共有がしやすい仕組みを整えることで、グループ全体の進めやすさを向上させる工夫を検討していきます。

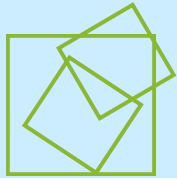
myプロジェクトを考えた後は

最終回は、受講生自身の考えたmyプロジェクトを発表し、終了しました。この後、受講生の皆さんが実際にmyプロジェクトに取り組むかどうかは、それぞれの判断に委ねられています。最終アンケートでは、「実際に行動を起こすことができるかな？と不安ですが、考えていきたいと思います！」という今後の活動に対する前向きな思いと共に不安の声もありました。

こうした結果から、活動に踏み出すための伴走支援や学び続けられる環境づくりが今後必要だと考えます。講座後の活動のサポート等、社会教育センターとしてできることを引き続き検討していきます。

学習支援者から受講修了生へ

メッセージ



学習支援者

矢野 恒

(やのや主宰、まちづくりコーディネーター)



すぎなみ大人塾地域コースを受講された皆さま、長期に渡り足をお運びいただきありがとうございました。
本講座は、今年度のテーマである「コミュニティデザイン実践編」にあたり2つのミッション「スモールプロジェクト」、「myプロジェクト」を経験していただきました。皆さま、真剣に取り組んでいただき、私どもが想定したよりもはるかに素敵なプロジェクトの仕上がりでした。

このスモールプロジェクトの狙いは結果ではなく、グループとして1つのものを作り上げていく過程を経験していただくことで、知らず知らずのうちに身に付くことを考えて設計をしました。カードゲームではその人が持つ価値観を共有し、色々な意見がある中でゴールに向かって1つにまとめ上げていく。そして、グループで楽しみながらプロジェクトを作り上げていくことで結束が高まり、これらを経験することで、今後、コミュニティデザインを考える上で大切なスキルが身につけているかと思います。

人々が「ポジティブな気持ち」で行動したり参加したりする場や機会をつくり出し、そこで生まれる共感を通して人々が行動を起こすことで、社会課題が解決されていく『共感によって解決する道』

このアクションこそが、コミュニティデザインによる地域活動です。皆さまの地域活動を期待しております。

学びあいの伴走人としての振り返り

今年地域コースの最終年度ということで、ある意味区切りの年でした。昨年度の受講生からサポーターを募り一緒に講座を開催してきました。私自身も受講生から講座を開催する側になって気づいたことや新しい受講生との出逢いでまた新たな発見や繋がりが生まれる楽しさを共感できた3年間でした。もしかしたら私が一番、多くのことを学ばせていただいたかも知れません。頭では分かっているけれども実際の現場は予定通りには動かない。正にそれを楽しめるかどうか地域づくりなのかも知れないと思います。1年目のスタートもハプニングからの始まりでしたから（笑）

今回は設定されたグループで与えられたテーマを選び、みんなで協力しながら形を作っていく作業は、とても大変だったと思います。最初はギクシャクしていたかも知れませんが、成果発表はどのグループも素晴らしかったです。成果物もそうですがその過程のそれぞれの葛藤？が大きな学びだったのでは無いでしょうか？そして最終回のmyプロジェクトの発表もどれも素敵な企画でそれぞれが自分にできる事を考える場になったと思います。参加して良かったという声がとても嬉しかったです。

受講生と一緒に作り上げるのが、地域コースの良さかな？と思いました。3年間一緒に関わってくださった学習支援者と学びあいの伴走人には深く感謝です。今後は、自分の地域でこの学びを活かしていけたらと思っています。本当に皆さま、ありがとうございました。

尾関 久子

くがはまコース（久我山～浜田山コースの愛称）の3年目、不安と期待でスタートしました。3年目は、myプロジェクトを考え、そこまでのプロセスを大切にしたいという思いで、取り組んでまいりました。学習支援者、学びあいの伴走人の思いが自然と受講生に伝わり、皆さんが口々に「ここまでのプロセスが大切なんだよ」と話しているのを聞き、私たちの思いを理解してサポートに入っていたいただいたサポーターの皆さんに感謝しかありません。

経験豊富な受講生とサポーターのおかげで3年間の集大成の1年が無事に終えることができたと思います。この3年間は長いようであつという間でした。この機会を作っていた皆さんに感謝し、今後は自分で楽しめる活動を行って行けたらと思っています。

3年間ありがとうございました。

岡田 美津江

受講生の声

この講座を受講する前と後で、「仲間づくり」「人とのつながり」「地域でこれからやってみたいこと」などについて、気持ちや考え方に変化がありましたか？具体的な変化を教えてください。

001 | 地域の知り合いや仲間を増やしたいと考えるようになったこと。

002 | 人と関わる難しさを実感。多様な意見の尊重とは言いっぱなし、責任なしというように感じるし、深く関われば人格に対する越権とも思えるのでとても難しいと感じる。

003 | ちょっとした行動で大きな変化に繋がっていく可能性があることを学びました。信頼できる人との繋がりを作るべく、共感力を大事にしながら今後も地域活動を続けていきたい、と思います。

004 | 些細なことからは始める勇気をもらった。

005 | 気持ちがさらにオープンになったと思う。

講座全体を通した感想を自由にお書きください。

001 | 家の周りだけでなく少し範囲を広げたコミュニティにもっと関心を持ち、人と繋がっていきたいと思った。

002 | 様々な立場、年齢、経歴の人が同じ条件でフラットに参加するという大人塾の仕組みはとてもいい。

003 | 転居したてでも、地域のつながりに加わるできると、自信になった。

004 | 今回参加させていただいて感じたことは、都会のコミュニティはとてもスマートだけれど、希薄な関係の上に成り立っているということを実感した。スマートさに暖かさを加えたとしたら、ラジオ体操といった肩肘張らない自然活動が評価されていて、なるほどと思った。

005 | 同じ目的に対してグループ活動を行い、見知らぬ方々とチームを立ち上げて行くことは面白いと思います。

006 | 今後地域のイベントなどに積極的に関わっていきたいと思います。また、今回知り合えた方々との繋がりを継続できると良いと思います。

